

九大ポータル My.Kyushu-U の試作

伊東, 栄典
九州大学情報基盤センター : 准教授 : 情報学

池田, 嗣穂
九州大学情報基盤センター : 職員

亀岡, 謙一
九州大学情報基盤センター : 職員

高木, 早智子
九州大学情報基盤センター : 職員

<https://hdl.handle.net/2324/15942>

出版情報 : 情報基盤センター広報 学内共同利用版. 6 (1), pp.1-6, 2005-05. 九州大学情報基盤センター
バージョン :
権利関係 :

九大ポータル My.Kyushu-U の試作

伊東栄典* , 池田嗣穂 , 亀岡謙一 , 高木早智子

本稿では、当センターで試作している九大ポータル“My.Kyushu-U”について紹介します。なお、本稿を読まずとも、以下のページをアクセスして頂ければ利用できると思います。

My.Kyushu-U	http://my.kyushu-u.ac.jp/
部局サイトの RSS 一覧	http://my.kyushu-u.ac.jp/rss/

本システムは試作段階ですので、改善の余地が沢山あります。利用者の皆様からのコメント、御意見を募集しております。御意見がある場合、下記の宛先にお送り下さい。

コメント送付先 qportal@cypher.cc.kyushu-u.ac.jp

1 はじめに

情報通信技術の発達と Web の広がりにより、Web ページは増加の一途をたどっています。九州大学内部でも多くの Web サイトが提供されており、多数の Web ページが存在しています。Google の検索ヒット数から判断すると、2006 年 2 月には 100 万以上のページが kyushu-u.ac.jp ドメイン内から提供されているようです。

九州大学のような総合大学では、学部・学府・施設・サークルなどの学内部局が存在し、部局のサイトも存在しています。九州大学の公式 Web サイトで提供されている、学部・大学院・研究所等の一覧を記載したページ (<http://www.kyushu-u.ac.jp/profile/faculty.html>) には、学内にある様々な部局やセンター等が提示されており、2006 年 2 月 17 日現在では 66 個の Web サイトへのリンクが存在しています。

多くの Web サイトやページがある場合、ページ閲覧者にとって二つの問題が発生します。一つは Web ページを巡回する手間であり、もう一つは情報過多による閲覧性の低下です。

九州大学の学生・教職員は所属部局の掲示情報を閲覧する他に、学内で共通するサイトの情報も閲覧する必要があります。例えば、九大トップページや図書館の情報は閲覧の必要性が高いでしょう。所属部局以外に、関連研究所や所属サークルといった、他サイトも閲覧しなければならない場合もあるでしょう。部局やサークルのお知らせは、そのサイトにしか掲載されない事が多いため、常に新鮮な情報を得るには複数のサイトを巡回しなければなりません。しかし、これは手間の掛かる作業です。

二つ目の問題は、情報過多による閲覧性の低下です。各サイトには多くのページが提供されているため、自分の必要な情報がどこにあるのか分かりにくく、また探し出すのも困難です。

*情報基盤センター {itou,ikedata,kameoka,takagi}@cc.kyushu-u.ac.jp

また、上記の二つの問題は閲覧者に限ったものではなく、情報提供者側から考えても問題となります。提供者側は、知りたい方全員に「お知らせ」を伝えたいのですが、閲覧者を特定する手段がありません。かといって学内の全構成員にお知らせを連絡すると、部局は多数存在するわけですから、「お知らせ」がスパムメールのように増えて迷惑な情報過多を引き起こします。

以上の問題点の解決方法として、一元的に情報を提供するポータルサイトが考えられてきました。今回、学内の「お知らせ」を一元的に取りまとめて提供する九大ポータル“My.Kyushu-U”を試作しました。本稿では(試作版) My.Kyushu-U の機能について紹介します。

2 システムの概要

2.1 学内情報の一元化

ポータルサイトを構築するには二つの方法が考えられます。一つはデータベースを備えた統合情報提供システムを用意し、ここへ各部局のお知らせ情報を登録してもらう方法です。この方法では、統合情報提供システムの準備の費用が必要になります。また、各 Web サイトの情報提供者は統合情報提供システムへの情報登録の方法を新たに学習しなければならず、さらに自部局サイトへの情報更新に加えて、統合情報提供システムへの情報登録作業が発生してしまいます。

もう一つの方法は、分散して存在している Web 情報を、半自動的に抽出・統合して閲覧者へ掲示する方法です。この方法は、各 Web サイトの情報提供者は、何の手間も必要なく、既存の利用者にとっても閲覧方法の変更も不要です。ただし、情報統合システムの構築と保守には手間がかかります。

二つの方法について手間と費用を比較した結果、ポータルサイトの構築には後者の方法を採用しました [1]。

2.2 一元化する情報

次にどのような情報をポータルサイトへ一元化するべきかについて検討しました。各部局の Web サイトで提供されている情報は、二つの種類があると考えられます。一つは比較的長期間変更のない情報で、教員リスト、講義時間割、教室の位置、事務室への連絡方法などです。これらは年度中に変更されることはあまりありません。もう一つは、お知らせやニュースのような短期的な情報です。お知らせは随時提供されるため、頻繁に更新されます。

長期的な情報については、検索機能を用いて探して閲覧する想定しました。ただし、頻繁に閲覧される可能性があるページの場合は、そのページへのリンクをポータルサイト側に作成することにしました。リンクする場合は、定期的に URL 先のページの有無を調べる必要があります。

短期的な情報については即応性が重要であるため、随時ポータルサイト側にも提示する必要があります。そこで、お知らせの提示されている部位を切り出すプログラムを作成しました。これを定期的(一日に2回)に実行し、更新されていたらお知らせを切り出すようにしました。

切り出した「お知らせ」は、RSS 形式で保存しています。RSS とは RDF Site Summary の略で、XML でサイトの概要を記述するフォーマットであり、Netscape 社が 1993 年 3 月に公開したものです [2, 3]。最近では新聞サイトなどで、ニュース記事のヘッドラインを表現するの

に使われています。学内のお知らせもニュース記事の一つですから、RSS はぴったりの形式といえます。

2.3 お知らせ部分の抽出

各部署のサイト毎に、お知らせが存在するかどうかを手で調査しました。その結果、現在は43の部署でのお知らせが提供されていることが分かりました。次に、お知らせの提示されている部位を指定するXPathを、お知らせ提供サイト毎に一つ一つ手で調べました。手で調べたXPathを用いて、各部署サイトのお知らせの見出しを抽出します。抽出した情報を用いて、部署毎にRSS ファイルを自動生成するプログラムを作成しました。このプログラムを定期的に行うことで、新鮮なお知らせ情報を提示するためのRSS ファイル作成を行なっています。

3 My.Kyushu-U の利用方法

次にMy.Kyushu-U の利用方法を説明します。といっても利用はとっても簡単です。この説明を読まずとも、殆んど問題なく利用できるとおもいます。

3.1 起動画面

図1の左側に、Web ブラウザでMy.Kyushu-U (<http://my.kyushu-u.ac.jp/>) を表示させた場合の様子を示します。左側が起動時の画面です。図1の右側は、お知らせの一つをクリックした場合を表しています。中央に表示されているお知らせ項目の見出しをクリックすると、お知らせの詳細内容が表示する別のウィンドウが開きます。



(起動時)



(お知らせ表示)

図1: My.Kyushu-U

図1の左側の画面で分かるように、附属図書館が提供する「蔵書検索」と、大学評価情報室が提供している「研究者情報」への検索窓を置いています。また、頻りに利用するサイトへのリンクも記載しています。

別の部局のお知らせを表示させるには、左側の部局名をクリックします。図2に、「情報基盤センター」のお知らせを表示させた場合を示しています。



図 2: 部局 (ここでは情報基盤センター) のお知らせ表示

3.2 表示部局のカスタマイズ

最初の起動時には、九大トップページと、計算機を接続したドメインのある部局のお知らせしか表示されません。他の部局のお知らせをいつも表示させたい場合には、「Custom」をクリックして、カスタマイズを行ないます。図3の左側に、カスタマイズ画面を示します。

カスタマイズ画面では、お知らせを表示可能な部局が一覧表示されます。表示させたい部局がある場合は、その部局にチェックを入れます。その後、[登録] ボタンをクリックすると、次からはチェックを入れた部局が My.Kyushu-U のトップに表示されるようになります。図3では、例として比較社会文化学府のお知らせを表示させてみました。



(表示部局の変更)



(カスタマイズ後)

図 3: 表示部局のカスタマイズ

3.3 RSS ファイルの利用

http://my.kyushu-u.ac.jp/rss/ を見ると、My.Kyushu-U が扱っている部局サイトの RSS が一覧表示されます。[RSS] と書かれたアイコンから、RSS ファイルへのリンク URL が取得できます。glucose 等の RSS リーダーを利用している場合は、こちらから必要とするサイトの RSS ファイルへの URL を取得下さい。



図 4: 各部局サイトの RSS 一覧

例として、RSS リーダーソフト “glucose2” (http://glucose.jp/) を用いて、九大トップページのお知らせ RSS と、一つのお知らせ記事ページを表示させてみました。図 5 にその様子を示します。



図 5: 各部局サイトの RSS 一覧

4 おわりに

本稿では、情報基盤センターで試作した学内ポータルサイト “My.Kyushu-U” について紹介しました。まだまだ試作の域を出ておりませんが、学内の皆様が少しでも便利に使って頂けれ

ばと思います。

今後は、まず、Web サーバ間の連携を進めていきたいと思います。シラバスの教員名と教員 DB との連携、シラバス内の教科書と図書館の蔵書検索との連携など、様々な連携が可能でしょう。それらを進めていきたいと思います。

また、認証機構の導入も行ないます。学生の認証基盤は既に構築されているので、学生から利用者認証機構の導入を行ないます。また、当センターが学生向けに提供している Web Mailer “Grace Mail” (<https://secure.s.kyushu-u.ac.jp/mail/>) や、e-Learning システム “WebCT” (<http://webct.kyushu-u.ac.jp/>) など複数の Web 関連サービスシステムがあります。これらのシステムとの間で Single Sign On 機能も実現していきたいと考えています。

将来全学認証基盤が構築され、教職員の認証も可能になれば、研究者情報データベースの入力システムなども Single Sign On の連携範囲に入るでしょう。利用者認証機構が導入されれば、新着メールの件数表示なども可能になると思われます。今後は、これらの情報サービス機能を拡充していく予定です。

参考文献

- [1] 渦尾秀勝, 甲斐啓文, 伊東栄典, 廣川佐千男: ”学内ポータルサイト構築のための分散 Web 情報の一元化”, 情報処理学会 マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO 2005) シンポジウム論文集, pp.465-468, 2005.
- [2] RDF Site Summary(RSS)1.0, <http://web.resource.org/rss/1.0/spec>
- [3] RSS-サイト情報の要約と公開, <http://www.kanzaki.com/docs/sw/rss.html>
- [4] glucose2 : <http://glucose.jp/>